

学校給食費について

1 令和5年度の学校給食費の状況（報告）

令和5年度の給食食材費の状況は、物価高騰が続く中、食材の選定や調理の工夫をしながら、改正後の給食費により、栄養価や量などの質を保った給食を提供している。

令和5年度においては、子育て支援の一環として、増額分については公費負担し、保護者の負担軽減を行った。

センター方式分学校給食費の額の見直しと保護者支援

	～R4		R5			
	1食単価	月額	1食単価		月額	
			増額(支援額)		増額(支援額)	
小学校	250円	4,000円	270円	20円	4,300円	300円
中学校	290円	4,300円	315円	25円	4,600円	300円
幼稚園	180円	2,800円	195円	15円	3,000円	200円

2 令和6年度の給食賄材料費の見込み

現在も原材料価格の上昇、輸送コストの上昇、労働力コストの上昇など物価高騰が続いており、給食賄材料費の増額が必要と見込まれる。

○副食: ・10月分の全国消費者物価指数「食料」(総務省)は、対前年同月比8.6%の上昇

○主食・牛乳: ・宮津市産コシヒカリ 5円/1kgの値上げ (R5)407円→(R6)412円

・パン、牛乳 値上がり見込み パン (R4)→(R5)3～4円の値上げ

牛乳 (R4)→(R5)8～9円の値上げ

センター方式給食校の給食賄材料費の見込み

	R5見込み	R6見込み
学校給食賄材料費	55,530,000円 (うち公費による支援額 3,500,000円)	59,780,000円

3 学校給食費に係る国・府の支援について

令和5年度は、京都府補助金(子どもの給食臨時支援事業費補助金)及び地方創生臨時交付金を充当。

令和6年度については、現時点で国・府の支援制度なし。

4 令和6年度の学校給食費の考え方

エネルギー・食料品等の価格高騰が続く中、食材費の増額が必要と見込まれるが、保護者の物価高騰に伴う負担の軽減について、所得の改善状況や、国、京都府、他市の状況等を注視しながら総合的に検討する。